

副委員長：吉井文均，大生定義，委員：井上真智子，佐藤雄一郎，高屋敷明由美，森本剛，宮田靖志

21. 地域医療・多職種連携教育委員会

松井 俊和（委員長・藤田保健衛生大学）

日本医学教育学会では，地域医療教育の重要性から16期委員会の「医学教育のあり方特別委員会（北村聖委員長）」において「地域医療教育特別委員会（大滝純司委員長）」が設置され，「提言 地域医療教育充実のために－地域枠制度の拡大を受けて－」をまとめ，医学教育学会ホームページおよび第43回日本医学教育学会大会で公表した。

医師の地域偏在，高齢社会への移行など地域医療を取り巻く社会情報が著しく変化してきており，大学では地域枠入学者が卒業を迎え始めている。このためこれらの社会からのニーズに対応するため，医学教育でも変革が求められるようになった。これらを踏まえ第17期委員会では特別領域の中に「地域医療・多職種連携教育委員会」が新たに設置された。多職種連携教育の場として地域医療とは非常に密接な関係があることより，地域医療と多職種連携教育を分けない形で本委員

会が設置された経緯がある。

委員の選出にあたっては，全国地域医療教育協議会や日本保健医療福祉連携教育学会など，地域医療，専門職連携教育の充実を目指す他の学会などとの連携も強化できるような構成とした。

委員会活動としては，第45回日本医学教育学会大会にシンポジウム「大学と地域医療機関との連携した医療人教育－求めるべきアウトカムは何か－」「専門職連携教育 interprofessional education (IPE) のアウトカム・方略・評価」の2題を提案した。現在長崎県五島の離島医療教育視察と討論の会を企画している。

副委員長：大滝純司，委員：阿部恵子，木内祐二，前田隆浩，前野貴美，吉田素文，飯島勝矢，酒井郁子，春田淳志，協力委員：朝比奈真由美，水越正人，中村丁次

22. 分野別認証検討委員会

北村 聖（委員長・東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター）

ECFMGが定めたいわゆる2023年問題に対応すべく，さらにより本質的には日本の医学教育の質のより一層の向上を目指して，すべての医科大学・医学部において国際基準に則った分野別認証

を受審しようという機運がわが国で高まっている。それに呼応して，日本医学教育評価認証機構（JACME）（仮称）などの認証機関の立ち上げや，外部評価の試行などが行われている。